

室原会だより

Vol. 80

春号

平成27年4月

ふれあい

(題字 室原亥十二)

考えよう!あなたの人生「胃瘦」

医療法人室原会 理事長 室原良治

サイクリング紀行/スポーツと私

ワーキング・ウーマン

熊本県医療勤務環境改善支援センター 設置

ふれあいア・レ・コ・レ

「きくなん生き生き健康教室」開催

うりぼう・グループホームきくなん便り

「グループホーム鈴の音」6年間の報告

...and more

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

考えよう！あなたの人生に胃瘻を登場させますか？

医療法人室原会

理事長 室原良治

「胃瘻」というのは、口から食事を摂れなくなった場合にお腹に小さな穴をあけて胃の中にチューブを通して栄養剤を注入する方法です。わが国では、脳卒中、認知症などで経口摂取ができなくなった方に多く行われています。必要な栄養を摂取できるし、口から食えることによる誤嚥、窒息のリスクを減少させることができる画期的な方法で、生存期間の延長という有効性があるとされています。しかし、一方で口から食べる喜びはなく、単なる延命の手段ではないかという意見も増えています。アンケート調査では、将来自分が認知症で経口摂取ができなくなった場合に76%の人が胃瘻処置は希望しないという結果が出ています。では何故、これ程多くの方に胃瘻手術が行われるのでしょうか？それは胃瘻に対して本人の意思表示がなく、治療方針の決定は本人ではなく家族に委ねられるからです。家族は少しでも長く生きて欲しいという愛情ある選択をされるのです。

私たちは進学、職業、結婚、住居、趣味などにおいて様々な選択をして自分の人生の物語りを描きます。胃瘻が必要になる状態というのは人生の最終段階の極めて重要な時期、起承転結の「結」にあたります。それまで自分らしく誇りを持って生きてきて、仕上げを人に委ねるのは残念ではありませんか？是非、元気な内に胃瘻を選択するか意思表示を信頼できる家族に伝えて文書に残しておいて下さい。

フランクシナトラのマイウェイという曲の最後の歌詞です。

「自分のやり方で生きてきた。それが私の人生だったのだ。」



ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

21. 寛政の大津波

3月11日は東日本大震災の日でした。4年前、マグニチュード9.0の地震とそれによって発生した高さ10mを超える津波が東北地方を襲い、甚大な被害を引き起こしました。

熊本でも約220年前、寛政4年に島原半島の眉山が大規模に崩落し、膨大な量の土砂が一気に有明海に流れ込み、それによって生じた津波が熊本の海岸を襲いました。約20年前の普賢岳噴火の際も話題になり、「島原大変・肥後迷惑」という寛政の大津波災害を表す言葉が語り継がれていることを憶えておられる方も多いと思います。調べてみると、この時、有明海沿岸では実に15000人が亡くなり、その内、熊本では約5000人が津波で命を落としておられました。そして、津波で亡くなった方々を供養するための石碑や、津波の到達点を示す石や伝承が今でも多く残っていることを知りました。

そこで、今年の3月11日の前後、二回に分けて、北は長洲から南は三角まで有明海の沿岸を自転車で廻ってきました。特に被害の大きかった旧玉名郡の岱明、旧飽託郡の小島、旧宇土郡の網田には、肥後藩主の命

により同一形式の供養碑が建てられ、今でも大切にされていました。また、津波の到達を示す石は、大田尾にあるものを計測すると津波の高さは約23mと推測され、東日本大震災の時のものに勝るとも劣らない津波だったと考えられています。「先人達が残した災害の記録を忘れることなく、準備しておく気持ちを持ち続けなければ・・・」、と心に刻んだサイクリングになりました。



左が岱明町の津波供養碑、右が大田尾の津波境碑

DO
SPORTS

スポーツと私 ヒマラヤトレッキングII



菊南病院 副院長
赤星 隆一郎

トレッキングに参加して嬉しかったのは、救急車や電話の音から解放されて夜熟睡出来たことです。明るくなったら起きて、昼はヒマラヤの山々を見ながら歩き、暗くなったら寝るという一日です。過酷な勤務から解放されて、規則正しい毎日を楽しむことが出来ました。現地の人々の生活は豊かなものではありませんが、子供たちの好奇心にあふれた活き活きした瞳が印象的でした。ヒマラヤ山脈はユーラシア大陸にインド亜大陸が乗り上げた格好で海底の地層が隆起し形成されたと考えられています。このためヒマラヤ山脈の至る所でアンモナイトなどの海洋生物の化石が発見されます。日常の生活を忘れ、美しい山々を眺め原始的で単純な毎日を送り数十億年に及ぶ地球の悠遠の歴史に思いを馳せるのは誠に気持ちのいいものです。6日目に今回の最高地点約4,800mを經由、7日目にトレッキングの最終目標地のエヴェレストビューホテル(標高約3,900m)に到着しました。予定ではその翌日にここから飛行機でカトマンズに行きその翌日に日本に向け出発することになっていたのです。ところが連日の降雪のため飛行機が飛ばず、次のフライトの予定も立たないとのことでした。ホテルのマネージャーから次のフライトまで泊めてやるからと、とんでもない高額な宿泊費

をふっかけられて喧嘩別れになりました。全員協議の末、雪の中を2日かけて出発地(ルクラ)まで歩くことにしました。ルクラではフライト待ちの登山客が100人近く居り、3日間フライト待ちで過ごしました。4日遅れで何とか帰国しましたが、予定外のトラブルよりもヒマラヤの山の素晴らしさが心に残り、いずれは実際にヒマラヤ登山を実現させたいと思う様になったのです。



エベレストのすぐ横の世界第4位(8,500m)のローツェ。山腹の縞模様はイエローバンドと呼ばれ隆起した海底の地層を表す。

平成27年度 医療法人室原会 菊南病院入社式

平成27年4月1日(水)、入社式が執り行われました。今年度は10名の新入社員を迎え、職員一同も初心を思い出し清々しい気持ちで新年度を迎えることが出来ました。式の後には、新人・前年度の中途入職者を対象に3日間

の研修が行われました。医療安全や感染対策、接遇・介護体験、救急蘇生法など、多岐にわたる研修を実施。その後それぞれの部署や施設へ配属となります。今後も新人及び職員一同、ますます励んで参ります。

入社式



記念植樹



新入職員紹介 H27.2.1～

よろしくお祈りします

井上 望	リハ部 通所リハ
神矢 亜矢子	外来 看護師
岡本 留美	健康管理部 看護師
森川 万里	一病棟 病棟クラーク
荻原 祥子	一病棟 ケアワーカー

高木 明子	二病棟 ケアワーカー
南 美代子	三病棟 准看護師
吉田 幸平	三病棟 准看護師
清水 大翔	リハ部 理学療法科
相馬 荘介	リハ部 作業療法科

濱本 倫子	リハ部 理学療法科
和田 昂也	リハ部 理学療法科
豊田 浩成	事務部 経理課
藤村 利希	情報管理室
澤田 弥生	事務部 医事科

認知症キッズサポーター養成講座を行いました。

熊本市高齢者支援センター ささえりあ北部 加世田

平成27年1月15日に北部東小学校にて6年生104名を対象とした、認知症キッズサポーター養成講座を行いました。講師は熊本市認知症地域支援推進員の牛島さんです。認知症は病気である事、心は生きている事等真剣に学び、認知症予防ゲームではとても大きな声で答えてくれました。後半は『宿題は終わったの?と何度も同じ事を聞いてくるおばあちゃんに、皆さんだったらどんな対応をしますか』をテーマにグループワークを行いました。進行役は地域の民生委員さんや認知症サポーターさん達です。『宿題ちゃんとやったから大丈夫だよ～

とやさしく声をかける』『宿題終わったから一緒にゲームしようよ～と言う』等、心温まる意見をたくさん出してくれました。ゲームに大きな声で答え、元気に手を挙げ発表をしてくれる子供達の姿に、沢山のパワーを頂きました。核家族化が進み、子供達と高齢者の接する機会が少なくなっています。幅広い世代に認知症についての理解者が増えれば、もっともっと住みやすい地域になると思います。認知症キッズサポーター養成講座を開催したいとお考えの皆様、お近くの『ささえりあ』までご連絡下さい。



～働く女性へ Q&A～

菊南病院 リハビリテーション部
理学療法科科长



入江 泰子



Q 理学療法士を志したきっかけは？

A 「お姉ちゃんたちにあこがれて・・・」

高校生の時二人の従姉と姉が医療系の大学に進学しており、白衣（まだ実習着でしたが）がとてもカッコ良くみえました。ただ小さい時から新しいものが好きな性格で、当時まだ新しい分野だった理学療法士の養成校に進学しました。

Q 現在のお仕事は、具体的にどのような内容ですか？

A 骨折や脳卒中などにより上手く歩けなくなった方や、麻痺が残った方などを対象に機能回復訓練を行っています。具体的には関節を動きやすくしたり、筋力をつけたり、歩く練習をしたりなどの運動療法を行っています。温熱や電気刺激などの物理療法、必要であれば装具療法なども用いて日常生活動作能力の再獲得を目指しています。

Q 菊南病院リハビリテーションの特徴・アピールポイントは？

A 個々の患者様に合ったプログラムを立案し、患者様・ご家族と一緒に日々頑張っています。骨折や脳卒中の他に呼吸器疾患、心疾患、それに嚥下（飲み込み）のリハビリも行っています。それぞれのスタッフが専門性を持って、根気強く丁寧に対応しています。

平成20年からは回復期リハビリテーション病棟で集中的にリハビリを行い、在宅に復帰された患者様には訪問リハや通所リハを提供しています。

Q リハビリの際に心がけていることは？

A 「目線の高さを合わせること」

多くの患者様が車椅子で来室されます。患者様に接する際は目線の高さを合わせて大きな声でお話しています。

主に訓練室でのリハビリですが、患者様が退院された時の生活を想定した内容になるよう心がけています。

来室された時の挨拶と終わられた時の「お疲れ様でした」の声掛けは、全ての患者様に行うようにしています。

Q 菊南病院で働いて良かったこと・思い出は？

A 「一泊での忘年会」

平成4年に入職させて頂いた時のリハスタッフは理学療法士4名、作業療法士1名、助手さん4名の計9名でした。アットホームな雰囲気が印象的でした。当時作業療法科係長だった赤崎圭子先生のリーダーシップのもと、阿蘇・天草・玉名などの温泉へ12月の土日でお出かけしていました。車のトランクに入りきれない程のお酒とおつまみ、夜食などを買い込み大広間での宴会の後もそれぞれの部屋で夜遅くまで二次会が続いたことを思い出します。リハ部以外からの参加者も交えて毎年かなり盛り上がりがありました。

Q 今後挑戦したいことは？

A 「上級者コースをビュンと滑ってみたい」

五ヶ瀬にスキー場がオープンした年から私のスキー歴が始まりました。ここ最近は年に一回、北海道でのスキーを楽しんでいます。スキー歴は長いですが今も初心者コースです。毎年急な傾斜の上級者コースを下の方から見上げています。「いつかは上級者コースを!」と思っていますが現実には程遠い腕前です。

これまで長く勤めてこられたのは、リハスタッフの皆様はじめ、周りで支えて下さる多くの方々のお陰だと思っています。この場をお借りしてお礼申し上げます。これからも宜しく願い致します。



RKK女子駅伝

2月11日(水)、毎年恒例運動公園で開催されたRKK女子駅伝に出場しました。出場チームは2チームで、健康管理部・事務部・リハビリ部・薬剤部・看護部からの総勢16名で参加しました。結果は388人中112位と299位と健闘いたしました。

私は今回初出場で、マラソンは元より苦手です。完走できるかも不安でした。しかし、仕事後に皆で練習を重ね、結果遅くはなりましたが完走できました。

今回参加して、普段交流の少ない他部署の方と接する機会となり、自分の日頃の運動不足の改善にもなり、得るものが多い貴重な体験となりました。

最後になりましたが、沿道での声援はとても励みになりました。応援して下さいました皆様、チームの皆様、手配や準備をして下さった皆様本当にありがとうございました。(事務部 泉)



第4回熊本城マラソン(H27.2.15)に参加して・・・

平成24年に始まった熊本城マラソンも今年で4回目の開催となりました。

第2回目から抽選となり、競争率も上がるなか、フルマラソンでは通所リハビリから田尻係長(第2回から出場・3回目)、健康管理部からは上野さん(初出場)、中嶋課長と藤野(第1回から出場・4回目)の4名で参加してきました。

当日はお天気も良く絶好のマラソン日和のなか、自己ベストを更新することができました。また出場するだけでも厳しいタイムの制限があり、出場できても関門突破が困難な30キロロードレースには吉村先生が出場、見事完走さ

れました。

「ただ走るだけなんて、きついだけでおもしろくない。」と走ることを敬遠される方も多いと思いますが、走り終わった後の爽快感は何とも言えず気持ちのいいものです。仲間と一緒に走らなそうさそうです。興味のある方は一緒に走りませんか?

菊南病院では発足4年目になる菊南病院RC(ランニングクラブ)があり、月1~2回の合同練習を行っております。3月7日(土)には、熊本市駅伝に参加してきました。走り終わった後の爽快感や達成感を一緒に味わいましょう。

《健康管理部 藤野》



第68回熊本市駅伝大会

去る、3月7日(土)に開催された「第68回熊本市駅伝大会」に菊南病院 RC(ランニングクラブ)が3チームで参加してきました。今回が3度目の挑戦で、吉村先生率いるAチームが悲願の入賞を果たしました。結果は、出場36チーム中Aチーム4位、Bチーム20位、Cチーム24位という素晴らしい成績でした。

来年は表彰台を狙うべく練習を重ね、新たなメンバーにも入ってもらい、RKK女子駅伝に負けぬように頑張りたいと思います。

(健康管理部 松村)

北バイパス開通式典

平成27年3月28日(土)、熊本北バイパスが全線開通し、関係者がテープカットして祝福した後、地域住民約1200人が歩いて通り初めを行った。

この日は未開通だった四方寄～須屋間1.8キロ区間が開通、北区鶴羽田の北部東小学校で式典があり、約200

人が出席した。通り初めにはくまもんやひごまる、ヴィーブルくんなど人気のご当地ゆるキャラも訪れ、会場を大いに盛り上げた。

東回り環状線が結節したことにより、地域の渋滞緩和や活性化が望まれる。



熊本県医療勤務環境改善支援センター設置

平成26年6月に改正医療法を含む「医療介護総合確保推進法」が成立し、医療勤務環境改善の取組が法的に位置づけられました(平成26年10月1日施行)。

この改正医療法の中では、医療機関の管理者に対して、勤務する医療従事者の勤務環境の改善その他の医療従事者の確保に資する措置を講ずるよう努めることが規定され、また都道府県には、医療機関が取り組む勤務環境改善のために必要な支援が求められています。

こうした法改正を受け、熊本県では取組の一環として、平成27年2月19日、熊本県医師会館内に「熊本県医療勤務環境改善支援センター」が設置されました(熊本県は全国15番目)。

このセンターは、医師や看護師等の医療従事者の離職防止や医療安全の確保

等を図るため、「医業経営アドバイザー(医業経営コンサルタント)」、「医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士)」の専門家による相談支援等、医療機関の多様なニーズに対する支援を無料にて行っております。

なお、西村俊也菊南病院事務部次長が医業経営アドバイザーとして担当することになりました。



お花見弁当

菊南病院
行事食献立



ひな祭り



第163回 きくなん活き活き健康教室 (野外活動)を開催いたしました。

平成27年3月25日(水)第163回きくなん活き活き健康教室(野外活動)を開催いたしました。今回のテーマは「みんなで花見に出かけよう!!」で「小国」方面へ出かけました。

小国は九州中部にして熊本県の北端部に位置し、町の8割は山林でその山林の大半は杉の木で「小国杉」としても有名です。

また小国といえば、室原会にとって大変ゆかりのある土地で室原亥十二会長のふるさとです。

まず、朝から開花したばかりの菊南さくらに見送られ、野焼きで整った阿蘇の山々を眺めながら山あいの道を縫うように進むと、杉木立の間から満々と水をたたえた人工湖(下笠ダム)が姿を現しました。

この下笠ダムを造るため、五十数年も前に「蜂の巣城」の砦をこしらえて、十三年の永きにわたり公権と私権の闘争を続け、終始一貫して公共事業のあり方、民主主義における人権尊重を力説しその後のダム建設事業に多大な影響を与えた室原知幸氏の業績を、緑深くそびえたつ山々や静かに流れる湖面たちがたたえているようでした。

ダムの近くにある杖立公園に室原亥十二会長が建立された、森林愛護を訴える石碑『愛林治水』も見学しました。会長の「生まれ故郷周辺の、緑の木立を千年先まで残してほしい」という思いが、室原知幸氏の思いとつながるものがあると感じました。

お食事は「杖立温泉 ひぜんや」さんに行きました。ここは全国でもめずらしい温泉旅館で、熊本県と大分県に属し、渡り廊下の「両国橋」には肥後路「熊本県」と豊後路「大分県」の県境があり、一度で2回分楽しむことができました。参加者の方々も、熊本と大分のおみやげを手に手に買われていました。

この日も12回すべての参加者に皆勤賞を送りました。今回は小国にちなんで、「小国杉」で作った、「活き活き健康教室」刻印入りの特製くまモンキーホルダーを、小国



裏面



公共事業は 法にかなない、理にかなない、
情にかなうものでなければならぬ。

—室原知幸—

町森林組合さんのご協力により作成し、プレゼントしました。とてもかわいいキーホルダーに皆さんうらやましうでした。

次回はぜひ皆様も皆勤賞をねらってみませんか？(皆勤賞は毎回変わります。)

4月から第4水曜日に毎月開催いたします。皆様のご参加をおまちしています。



皆勤賞の
くまモンキーホルダー



うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

料理はお手のもの！
お寿司に大福、つくばいす団子。

みんなでクッキング



できあがり!

お花見



【研修】 3/6: 看取りケアについて

初詣・新年会

グループホームきくなん便り

節分



お正月初詣に行ってきました。
ご利用者、ご家族の新年会を催しました。
笑いありで、大変盛り上がりました。



節分で豆まきを行い、そのあとの豆も美味しくいただきました。

地域交流

地域のボランティアの方々が、日本舞踊や
アコーディオン演奏に来てくださいました。



お花見



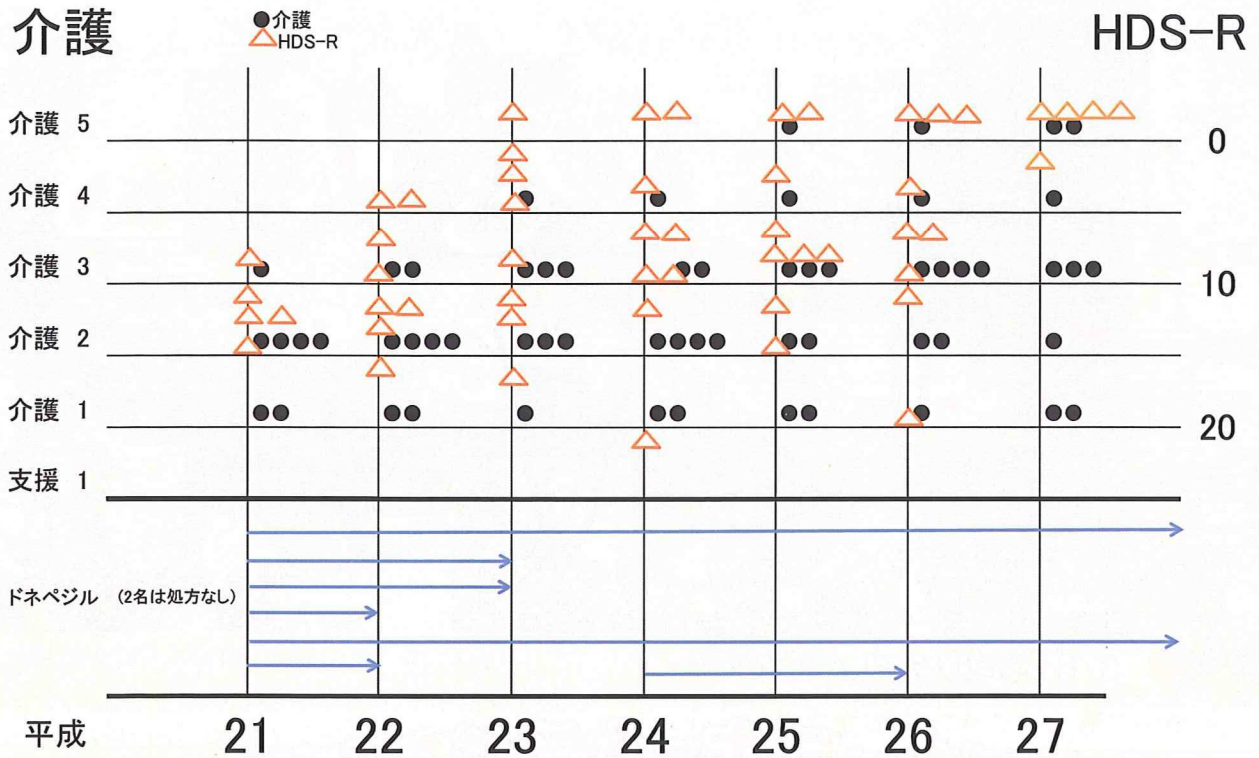
武蔵塚公園にお花見に行きました。
武蔵うどん、うどんをいただきました。

お誕生日
おめでとう

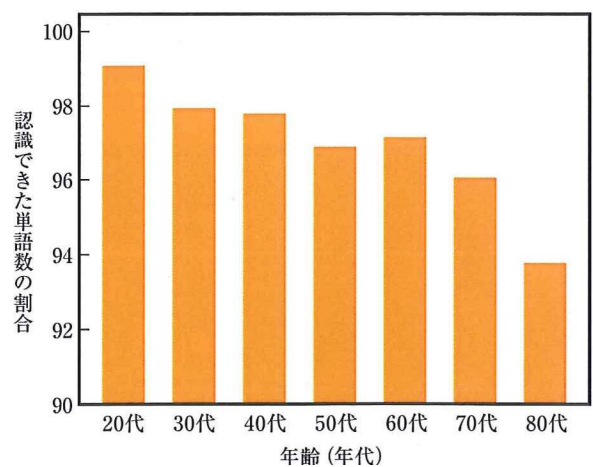
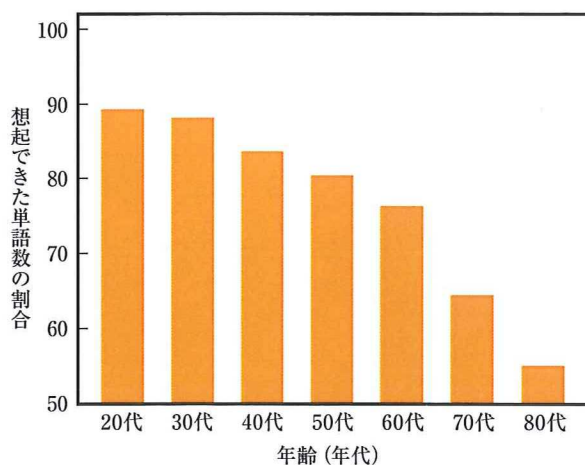


ドネペジルが同じ轍を踏まねばよいが……と、つまらぬことながら案じています。というのも、ドネペジルは神経伝達物質アセチルコリンの分解を防ぐ対症薬でしかないからです。

現代では批判もあるが、あのダーウィンが「すべては自然の法則に従う」と言っている。その法則が分からない。38億年の進化は、100年・1000年単位では解明されるとは思えない。

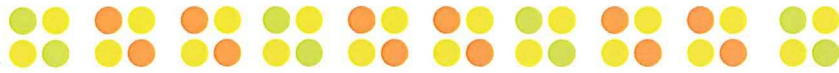


図①
グループホーム「鈴の音」
入所者9名の過去6年間のマトメ ～入所時年齢81～94才まで～

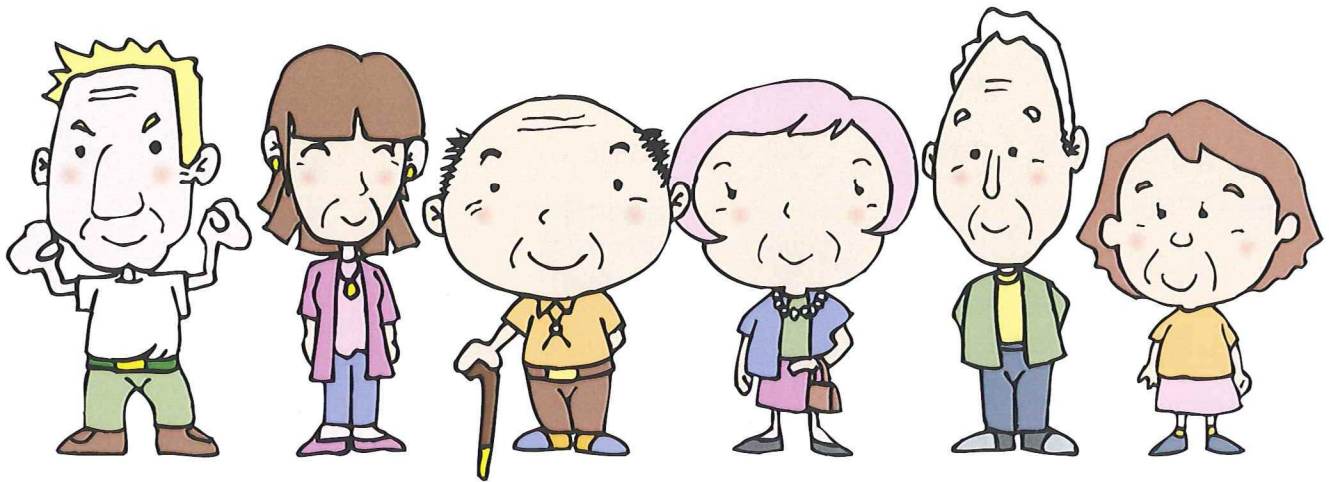


図②
図10-5単語の想起と認識についての2つの並列試験の469人の成績。被験者は学習した20分後にテストされた。想起テストでは、70代と80代の人たちの成績は若い人よりも劇的に悪い。対照的に、認識テストでは年齢に関係した違いはとて少ない。

「グループホーム鈴の音」 6年間の報告



会長 室原 亥十二
看護師 入田 佳代子
和田 まみ



水前寺高齢者複合施設のグループホーム「鈴の音」が平成21年4月1日発足してから、丸6年が経過しました。今回主としてアルツハイマー型認知症の80才以上の9名の方について、次の3つの点に絞って専門家からみた極めて初歩的で素朴な問題を取り上げました。然も対象者が極めて少ない。

- ・物忘れについて
- ・ドネペジルの効果
- ・加齢（老化）

図①は、9名の方の6年間の物忘れ(HDS-R)スケール、介護度、治療薬、ドネペジル(アリセプト・リバスタッチ)使用歴を表にしたものです。ドネペジルは副作用(食欲不振・不整脈等々)は中止となることが意外と多かった。

図②は、コロラド大学のケリー・クレーベ等の認識(記憶)テストと想起(物忘れ)テストの結果報告です。これによると、健常者でも80才になると物忘れは劇的に悪化していることが分かっています。(記憶のしくみ エリック・R・カシデルより引用 図10-5)

現在使われている認知症薬4つの中から、コリンエステラーゼ阻害薬ドネペジルを処方しました。メーカーの資料によると中等度の物忘れを含む全症状に対して経度改善までいれて約50%有効となっています。高齢者(恐らく中度以上物忘れが進んでいる)の物忘れに対してどのくらい進行の抑止効果があるか。その効果も加齢により相殺されて健康寿命の延長にどのくらい期待がもてるか。難しい問題です。(脳研究の最前線—理化学研究所編より)

当所での6年間の経過を見守ってきた私共にはクレーベの報告を見るまでもなく、体の老化、特に再生力が低いといわれている神経細胞に対しての薬物の無力感を覚えます。

老化には細胞老化、個体老化があります。これとは反対に再生増殖が繰り返されるのが癌化で、この真反対の機構が今、癌遺伝子と深く関わっているとして解明されつつあります。(老化はなぜ進むのか—遺伝子レベルで考える 近藤祥司) 今日本とアメリカで iPS 細胞を使って抗アミロイドβ治療薬研究が進んでいると報じられている。

曾て武田製薬からアバン、カランなる脳動脈硬化症に盛んに使用されていた薬があった。現在の認知症が傷病名として市民権を得るまで、当時脳動脈硬化による痴呆、ボケの症状に対して何の疑いもなく処方されていた。さすがに1996年の再評価の結果「有効性が認められないもの」となり、武田製品は製造販売を中止してすでに久しい(儲けたと思う)。

◆外来担当医当番表◆

平成27年5月～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
診療 (9時～12時)	2診	古庄	加古	古庄	加古	加古	吉村
受付 (9時～11時)	3診	整形外科 前田(予約)	整形外科 前田(予約)	吉村	呼吸器(第1・3) 松岡(予約)	整形外科 前田(予約)	梅田(第2・4) 呼吸器 松岡(第3)
午後	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)	
診療・受付 (13時～17時)	2診	中島	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	休診
	3診		—	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	禁煙外来 赤星(予約)	

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

一医師情報一

松岡	呼吸器内科 ※要予約
守屋	神経内科 ※隔週(事前にご確認下さい)

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

平成26年1月現在

室原内科・小児科

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二 ☆動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 高血圧外来 (梅田Dr)		休診	室原亥十二 腹部エコー検査 (第2・第4)	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)
午後	室原亥十二	室原亥十二 ☆動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 喘息外来 (藤井Dr)		休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

《その他の教室》毎月第2火曜日 午後2:00より「生きがい塾」

青々とした若葉が目にし、百花繚乱、一番の好時節です。でも花冷えにはお気を付け下さい。私共も大切なのは「人のために進んで何かをする」事。心がけて生きていきましょう。

「ふれあいア・レ・コレ」の諸行事も多くのボランティアの努力の上に参加できる喜びを感じる事が大切です。選手の皆様、全力投球で苦勞様。そしてお疲れ様！菊南病院西村事務次長「医業経営アドバイザー」の大役、頑張ってください。

163回「さくなん活き活き健康教室 野外活動」は変わらぬスタッフ一同の真摯なご尽力に最高に楽しい一日でした。「うりぼう」「グループホーム6年間の報告」等々、皆様方お目通し頂きますようよろしくお願ひします。

「認知症問題」が近頃TVで盛んに報道されます。今後の重大な課題でお勉強したものです。その様な中、Working Woman VOL.4は、リハビリのお話。患者様の目線を大事に：一番大切な要素だと思ひます。私共一同、相手を生かすぬくもりのある言葉を使える自分でありたいと思ひます。

「春を呼ぶ」。阿蘇の恒例の野焼も終わり、日本人が一番愛でる桜花も散り、葉桜の季節です。ふれあい80号、先ず「胃瘦」の事はよく耳にします。是非真剣に考えてみましょう。院長の終わりの言葉にある様に、自分のペースを守って生きたいものです。

編集後記

編集長 室原 鈴子